

令和7年度 第4回 八戸市地域公共交通会議

日時：令和7年12月25日（木）10時30分～

場所：長根屋内スケート場 多目的室

次 第

1 開 会

2 議 事

＜＜協議事項＞＞

地域公共交通確保維持改善事業にかかる事業評価について 資料1

＜＜その他＞＞

地震被害に伴う公共交通機関への影響について 資料2

3 閉 会

配付資料

- ・ 次第
- ・ 出席構成員名簿
- ・ 席図
- ・ 資料1：地域公共交通確保維持改善事業にかかる事業評価について
- ・ 資料2：地震被害に伴う公共交通機関への影響について
- ・ 八戸市地域公共交通会議設置要綱

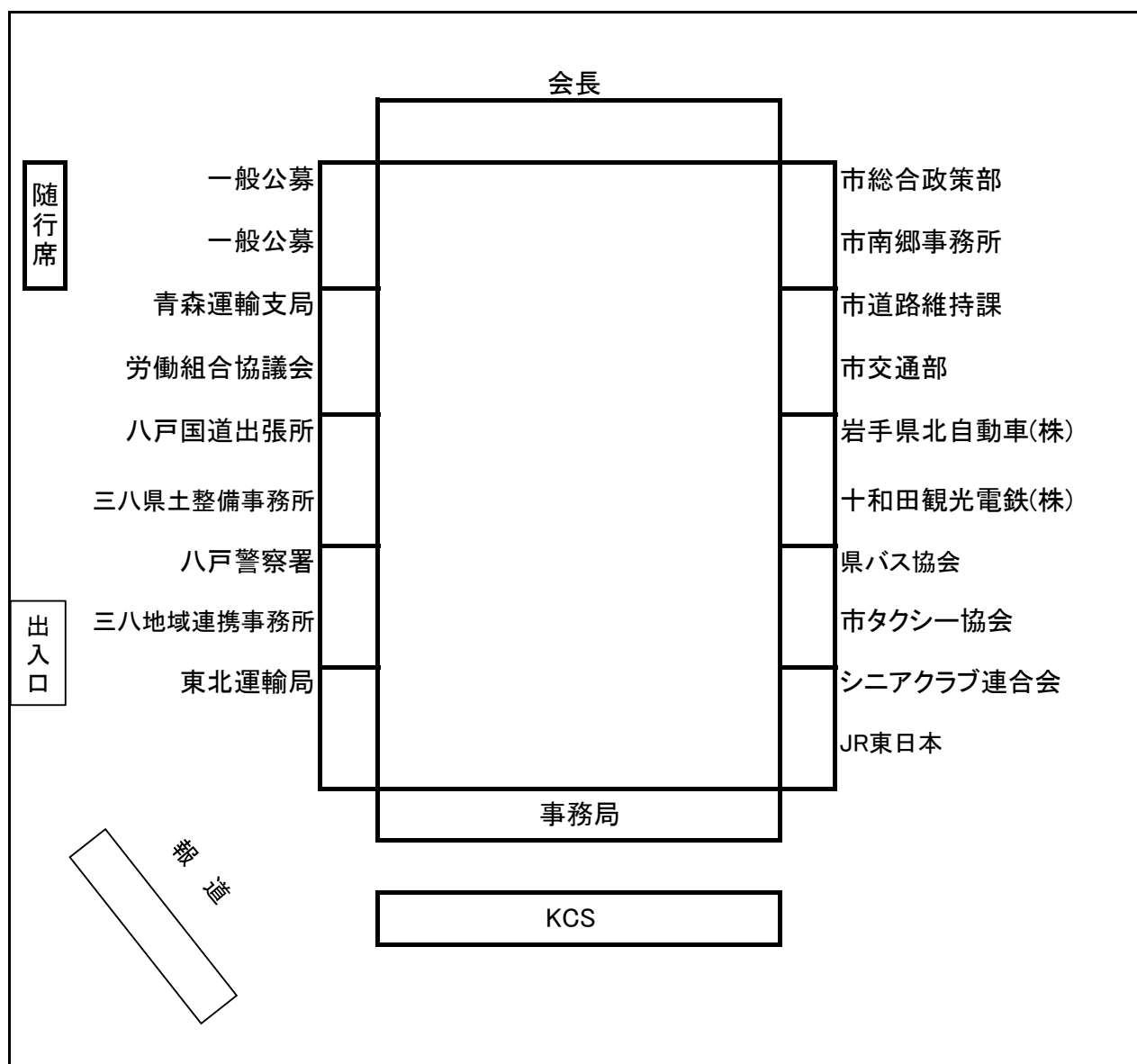
令和7年度 八戸市地域公共交通会議 構成員名簿

《構成員》

要綱(第3条)上の区分	役職名	氏名		備考
(1) 八戸市長が指名する職員	八戸市総合政策部次長	安原 清友	出	代理:政策推進課長 小笠原 慶信
	八戸市総合政策部 南郷事務所長	大山 暁史	出	
(2) 八戸市内を営業路線とする一般乗合 旅客自動車運送事業者の代表者が 指名する者	八戸市交通部 次長兼運輸管理課長	鈴木 伸尚	出	随付:営業GL 泉山 裕
	岩手県北自動車株式会社 乗合事業部 南部支社分室長	佐藤 欽一	出	
	十和田観光電鉄株式会社 執行役員 乗合事業部長	佐藤 美仁	出	
(3) 青森県内の一般乗合旅客自動車 運送事業者が組織する団体の 代表者が指名する者	公益社団法人青森県バス協会 専務理事	柳谷 英俊	出	
(4) 八戸市内の一般乗用旅客自動車 運送事業者が組織する団体の 代表者が指名する者	八戸市タクシー協会 事務局長	伊藤 正孝	出	
(5) 住民又は利用者の代表	八戸市シニアクラブ連合会 会長	上田 武男	出	
	八戸市社会福祉協議会 総務課長	高橋 幸治	欠	
	一般公募	兵藤 弘純	出	
	一般公募	福田 匡彦	出	
(6) 国土交通省東北運輸局 青森運輸支局長が指名する職員	東北運輸局青森運輸支局 首席運輸企画専門官	小林 弘典	出	
(7) 一般旅客自動車運送事業者の 事業用自動車の運転者が組織 する団体の代表者が指名する者	青森県交通運輸産業 労働組合協議会 南部バス労働組合執行委員長	間山 正茂	出	
(8) 道路管理者、青森県警察、 学識経験者その他会議が 必要と認める者	国土交通省 青森河川国道事務所 八戸国道出張所長	新井 昌規	出	
	青森県三八県土整備事務所 道路施設課長	下川原 茂樹	出	
	八戸市建設部次長 兼道路維持課長	岩谷 寿	出	
	青森県八戸警察署 交通官	山中 信明	出	代理:交通課 規制係長 榊 浩治
	福島大学 教授	吉田 樹	出	
	青森県三八地域連携事務所長	工藤 福保	出	随付:地域支援課長 岡村 正彦 主幹専門員 大山 健
(9) 八戸市内において旅客の運送を行う 鉄道事業者の代表者が指名する者	東日本旅客鉄道株式会社 八戸総括センター 副所長	泉山 大樹	出	代理:盛岡支社 鉄道事業部 モビリティ・サービスユニット マネージャー 阿部 良充
	青い森鉄道株式会社 経営戦略部長	廣沼 高明	欠	
(10) 事務局	事務局次長	谷崎 安進	出	
	事務局員	相模 将喜	出	
	事務局員	千葉 明	出	
	事務局員	八木田 訓寿	出	

令和7年度 第4回八戸市地域公共交通会議

会場:長根屋内スケート場 多目的室



地域公共交通確保維持改善事業にかかる事業評価について

1 目的

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱及び地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づき、当該年度補助対象事業の実施状況の確認と評価を行い、当該自己評価の結果を東北運輸局へ報告するとともに、あわせて公表を行うもの。

2 対象事業名

- (1) 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）
- (2) 地域公共交通バリア解消事業（バリアフリー化設備等整備事業）

3 事業評価シート

- (1) 地域公共交通確保維持事業 ⇒ 評価対象年度：令和 7 年度（R6.10～R7.9）
 - ・概要資料 … P2, 3
 - ・別添 1 … P4
 - ・別添 1—2 … P5
- (2) 地域公共交通バリア解消事業 ⇒ 評価対象年度：令和 6 年度（R6.4～R7.3）
 - ・八戸市福祉タクシー導入促進事業計画 …P6,7,8
 - ・別添 1 … P9

4 評価基準

● 事業実施の適切性：

生活交通ネットワーク計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A, B, C の 3 段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

● 目標・効果達成状況：

生活交通ネットワーク計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成された（達成できる見込み）かを、設定した目標ごとに A, B, C の 3 段階で評価する。目標・効果が達成できなかった（達成できない見込み）場合には、理由等を分析の上明らかにする。

A：事業が計画に位置付けられた目標を達成した（する見込み）

B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）

C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

- ・評価は、判定結果のみをもって一喜一憂すべき性質のものではなく、その結果を次年度以降の事業にどのように反映させ、改善に取り組むべきかという検討を行うことこそが重要である。

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

南郷地域コミュニティタクシーは、南郷地域コミュニティバスが運行していない時間帯(朝・夕)において、市ノ沢線に接続して八戸市中心部への移動を確保していることから、その確保維持が必要とされている。

南郷地域コミュニティタクシーを確保維持することで、特に通院・通学に関する住民の生活交通手段を存続させることを目的とする。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】

- 南郷地域コミュニティタクシー
- ・運行事業者: (有)日の出タクシー
- ・運行日: 毎日
- ・運賃: 300円
- ※要予約



事業・実施主体

- ・南郷地域コミュニティタクシーの活用方法等について、市WEBサイトや市広報紙で周知を行う。(八戸市)
- ・南郷地域コミュニティタクシーの活用方法等について、住民主体で利用促進の懇談会を開催する。(島守地区自治会連合会)

定量的な目標・効果

【目標】

南郷地域コミュニティタクシーの利用者数169人以上

【効果】

南郷地域コミュニティタクシーを確保維持することにより、南郷地域の荒谷方面から八戸市内までの移動手段が確保され、通勤や通学が可能な公共交通環境の整備を図ることができる。

また、荒谷線の廃止後においても、地域住民の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。

基礎データ

合併状況: 平成17年に八戸市と南郷村が合併
 人口: 212,831人
 面積: 305.56km²
 高齢化率: 33.1%(9月末時点)
 協議会開催数: 4回(令和6年10月～令和7年9月)

前回の評価結果

【達成状況(結果)】 ※令和6年度事業

- ・島守地域コミュニティタクシー 【実績】運行1回あたりの利用者数: 1.13人/回(達成率57%)
- ・市野沢地域コミュニティタクシー 【実績】運行1回あたりの利用者数: 1.06人/回(達成率53%)

【評価】

- ・乗合が発生しておらず、ほとんどが1人での利用である。
- ・周知・広報の強化、地域のニーズを踏まえた改善策の検討・実施・検証を行っていくことを助言された。

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

- ・市WEBサイトを更新し、周知を図った。
- ・NPO法人と協力しながら、南郷地域の小・中学生を対象に公共交通の利用促進事業を行った。
- ・利用促進の懇談会等の場合は今後開催予定であるが、利用者からのダイヤに関する要望を把握している。

【実績】 137人 / 目標169人 (達成率 81%) [内訳] B: 1件
 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。

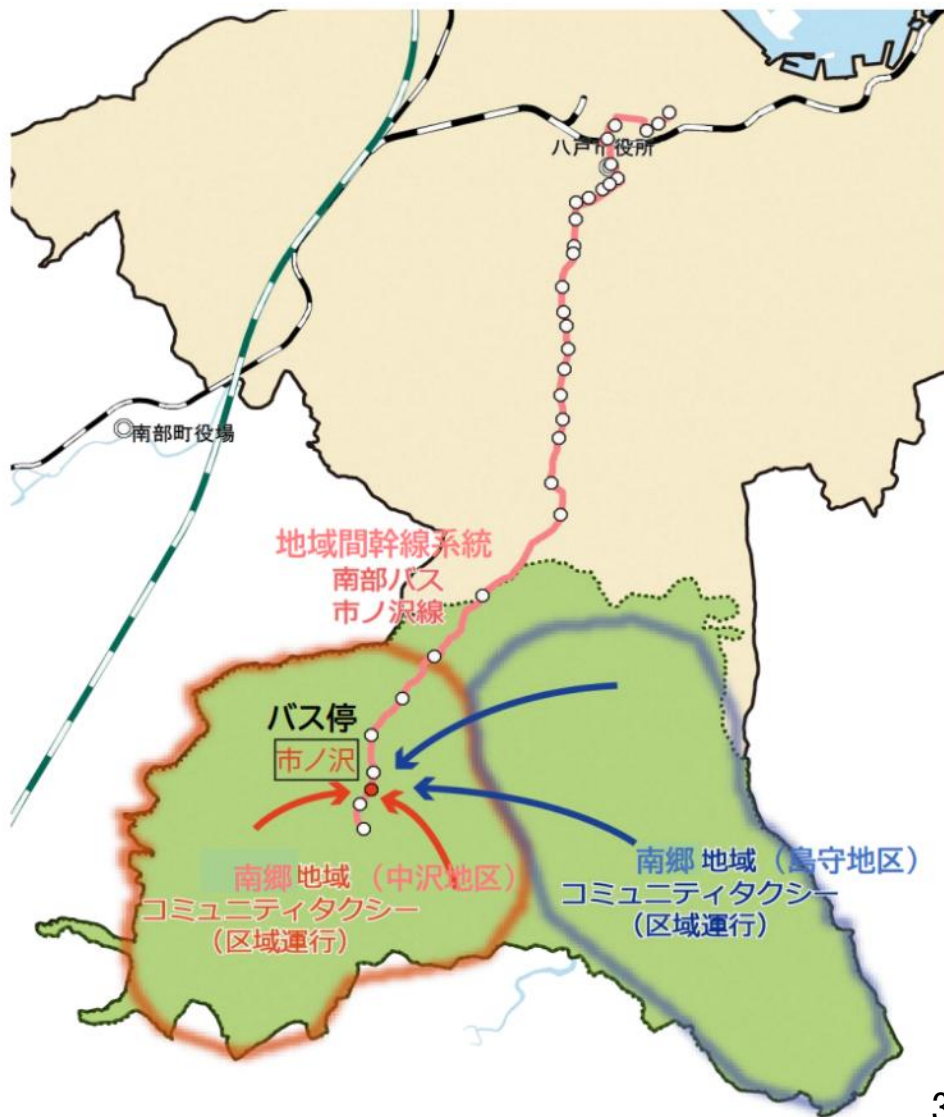
※評価の判定基準

- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

事業の今後の改善点

- ・周知・広報の強化
- ・今後、運行ダイヤについて住民からの声をより集め、より利便性の高いダイヤに改善していき、利用機会の増進に取り組む。

南郷地域コミュニティタクシー運行区域図面



運行時刻表

島守地区 南郷コミュニティタクシー 南郷コミュニティバス ご利用案内 令和7年度版

南郷コミュニティタクシー

コミュニティバスが運行しない朝と夕方の時間帯に南部バス「市ノ沢」バス停まで運行。

【朝】…「市ノ沢」バス停 6:55発への接続（土日祝日は7:22発）

【夕方】…「市ノ沢」バス停 18:05着からの接続（土日祝日は18:10発）

市街へ

市街から

自宅

18:00

タクシー

自宅

南郷コミュニティバス

平日の日中、主に診療所や道の駅なんごう経由で運行。

●運休日(土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3))

●詳しい経路・時間は別ページの「南郷コミュニティバス運行時刻表」をご確認ください。

垂車

100円
(小学生50円)

月・水・金

頃巻沢線

往路	頃巻沢 10文字 8:00発	島守10文字 8:19発	荒谷バス停 8:27発	診療所 8:43着	道の駅 8:51着
復路	道の駅 11:16発	診療所 11:24発	荒谷バス停 11:44着	島守10文字 11:48着	頃巻沢 10文字 12:10着

火・木

田代線

往路	土折/バス停 8:00発	不習 8:14発	島守十字文 8:25発	診療所 8:40着	道の駅 8:46着
復路	道の駅 11:10発	診療所 11:17発	島守十字文 11:35着	不習 11:46着	土折/バス停 12:04着

古里線

往路	売井坂 8:52発	→	下相野 9:15発	→	島守十文字 9:32発	→	診療所 9:50着	→	道の駅 9:58着
復路	道の駅 12:25発	→	診療所 12:32発	→	島守十文字 12:51着	→	下相野 13:08着	→	売井坂 13:30着

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年12月25日

協議会名：八戸圏域地域公共交通活性化協議会

評価対象事業者名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前）（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
(有)日ノ出タクシー	<p>【系統名】 南郷地域コミュニティタクシー</p> <p>【運行回数】 129回</p> <p>【運行区域】 南郷地域～市ノ沢バス停（路線バス：市ノ沢線）</p> <p>【実施した事業】 ・市WEBサイトを更新し、周知を図った。 ・NPO法人与協力しながら、南郷地域の小・中学生を対象に公共交通の利用促進事業を行った。 ・利用促進の懇談会等の場は今後開催予定であるが、利用者からのダイヤに関する要望を把握している。</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・以前は1回あたり2人以上の利用を目標にしていたが、乗合が発生しておらずほとんどが1人での利用であった。</p> <p>・目的が達成できていない状況であるため、周知・啓発、場合によっては運行ダイヤの見直し等、地域のニーズを踏まえた改善策の検討・実施・検証を行っていくことを助言された。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・南郷地区内の公共施設にチラシを配布し周知した。 ・利用者からのニーズを聞き取り、より利便性の高い時間でのサービスを検討し反映させる。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>【実施した事業の評価】 ・利用促進を図ったことで、引き続き一定数の利用者の確保をすることができた。</p>	<p>B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>【目標値】 年間169人 【実績値】 年間137人 【達成率】 81%</p> <p>・過去の利用と比較し通学手段としての利用機会減少も影響していると考えられる。</p> <p>・目標に達しなかったものの、主に高齢者の通院での利用が見られ、事業期間を通して継続的に安定した利用が見られた。</p>	<p>・周知・広報の強化</p> <p>・今後、運行ダイヤについて住民からの声を集め、より利便性の高いダイヤに改善し新規需要の創出をはかる。</p> <p>・学生の通学手段としてのさらなる利用の機会がないか、調査等を行う。</p>

【二次評価】

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月25日

協議会名：	八戸圏域地域公共交通活性化協議会
評価対象事業者名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>八戸市は青森県南東部に位置し、面積は305.56km²、人口は212,831人(令和7年9月末現在)で、市が目指す将来都市像として「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」を掲げている。</p> <p>近年では人口減少・高齢化が進展しており、令和2年度末には民間バス事業者が運行してきた荒谷線が廃止となるなど、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。</p> <p>しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる生活交通ネットワークの構築が必要不可欠である。その一環として、通勤・通学の足の確保を主たる目的とし、「南郷地域から、市中心街への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統である市ノ沢線と接続するフィーダー系統(デマンド型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

令和 年 月 日

（名称） 八戸市タクシー協会

（代表者名） 会長 小笠原 修 印

1. 生活交通改善事業計画の名称

八戸市福祉タクシー導入促進事業計画

2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性

タクシーは他の交通機関では対応できない需要（時間帯・区域など）に対する輸送サービスを担う公共交通として役割を果たすとともに、鉄道・路線バスと適切に連携することにより、今後も地域の公共交通手段の一翼を担えるものと考えております。とくに高齢社会への対応や身体の不自由な方の社会参加を進める意味で、タクシーに求められる役割は高まる一方です。

このことから、福祉タクシー導入によりタクシー車両のバリアフリー化の普及を促進するとともに、高齢者、障がい者、車いす利用者、妊娠中の女性、子どもなどに対しての外出支援や社会的活動の参加を促進する事を目的とします。

特に、車いす利用者の方からは、通常のタクシー車両での乗降が困難であるという声もあります。UD（ユニバーサルデザイン）タクシーは、車いすのまま乗降可能であるため、UDタクシーを一般のタクシーとして導入することにより、多くの市民が利用しやすい公共交通として、また、観光・ビジネス等で訪れる方への利便性向上を図る事を目的とします。

3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果

（1）事業の目標

現在、八戸市内のタクシー事業者で、協会加入車両台数が 366 台あり、うち、福祉タクシーは、回転シート装備車両 17 台 UDタクシー36 台 ストレッチャー装備車両 6 台 スロープ装備車両 5 台 計 64 台（17.5%）のみである。

福祉タクシーの割合を 33%以上とすることを目標に、令和 6 年度以降、今後の動向を踏まえ令和 9 年度までに計 69 台を導入し、合計 133 台（36.34%）を目指したい。

（予定）令和 6 年度：回転シート装備車両 9 台、UDタクシー 7 台・・計 16 台

令和 7 年度：回転シート装備車両 10 台、UDタクシー 7 台・・計 17 台

令和 8 年度：回転シート装備車両 9 台、UDタクシー 9 台

スロープ装備車両 1 台 ..計 19 台

令和 9 年度：回転シート装備車両 8 台、UDタクシー 9 台・・計 17 台（計 69 台）

（想定）令和 9 年度末の福祉タクシー車両台数 133 台（36.34%）

(内訳)

年度	車両種別	台数	導入事業者	台数
R6	回転シート装備車両	9	有限会社大石タクシー	2
			県南タクシー株式会社	1
			有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	2
			ポストタクシー株式会社	2
			マルイタクシー有限会社	1
	ユニバーサルデザインタクシー車両	7	有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	1
			ポストタクシー株式会社	2
			三八五交通株式会社	3
R7	回転シート装備車両	10	有限会社大石タクシー	2
			県南タクシー株式会社	1
			有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	2
			ポストタクシー株式会社	2
			マルイタクシー有限会社	2
	ユニバーサルデザインタクシー車両	7	有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	1
			ポストタクシー株式会社	2
			三八五交通株式会社	3
R8	回転シート装備車両	9	有限会社大石タクシー	1
			県南タクシー株式会社	1
			有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	2
			ポストタクシー株式会社	2
			マルイタクシー有限会社	2
	ユニバーサルデザインタクシー車両	9	有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	1
			ポストタクシー株式会社	2
			三八五交通株式会社	5
R9	回転シート装備車両	1	マルイタクシー有限会社	1
	回転シート装備車両	8	有限会社大石タクシー	1
			有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	2
			ポストタクシー株式会社	2
			マルイタクシー有限会社	2
	ユニバーサルデザインタクシー車両	9	有限会社興産タクシー	1
			八戸タクシー株式会社	1
			ポストタクシー株式会社	2
			三八五交通株式会社	5

年度	車両種別	台数	導入事業者	台数
小計	回転シート装備車両	36	有限会社大石タクシー	6
			県南タクシー株式会社	3
			有限会社興産タクシー	4
			八戸タクシー株式会社	8
			ポストタクシー株式会社	8
			マルイタクシー有限会社	7
	ユニバーサルデザインタクシー車両	32	有限会社興産タクシー	4
			八戸タクシー株式会社	4
			ポストタクシー株式会社	8
			三八五交通株式会社	16
	スロープ装備車両	1	マルイタクシー有限会社	1
合計		69		69

(2) 事業の効果

福祉タクシーの導入により、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、妊娠中の女性、子どもなどを
 含め誰もが利用しやすい移動手段の選択肢の一つとして、また、移動への負担が軽減されること
 から、公共交通利用者の増加に寄与する。また、高齢者など様々な方の社会的活動の参加の促進
 が期待できます。

さらに、UD タクシーは高齢者やお体の不自由な方ばかりではなく、観光等にも適している車
 両となっているため、観光客、ビジネス関係等の利用者の増加と利便性向上も期待できます。

4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者

(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）

(内容) ※具体的に記載すること。

令和6年度：

回転シート装備車両	有限会社大石タクシー	2
回転シート装備車両	県南タクシー株式会社	1
回転シート装備車両	有限会社興産タクシー	1
回転シート装備車両	八戸タクシー株式会社	2
回転シート装備車両	ポストタクシー株式会社	2
回転シート装備車両	マルイタクシー有限会社	1
ユニバーサルデザインタクシー車両	有限会社興産タクシー	1
ユニバーサルデザインタクシー車両	八戸タクシー株式会社	1
ユニバーサルデザインタクシー車両	ポストタクシー株式会社	2
ユニバーサルデザインタクシー車両	三八五交通株式会社	3

(実施事業者（補助対象事業者）の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について)
 法人、個人全事業者が適用：身体・知的 各1割引

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 12月 25日

協議会名:八戸市地域公共交通会議

評価対象事業名:生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)

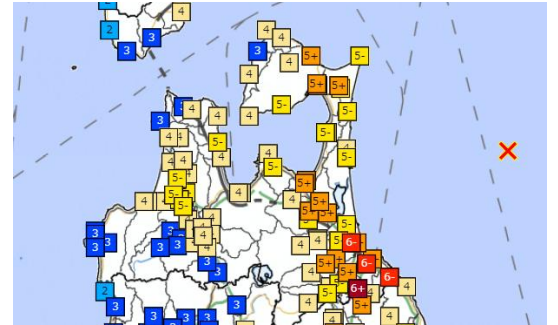
①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ポストタクシー株式会社	・ユニバーサルデザイン車両導入 ・回転シート装備車両導入	—	B 計画の一部が適切に実施された	B 計画の一部(3台)が導入され、ユニバーサルデザイン車両導入の向上が図れた	導入促進に向け、事業者へさらなる周知を行い、福祉タクシーの導入を目指す必要がある。また、利用者のUDタクシーに対する認知度を向上させることも必要である。
三八五交通株式会社	・ユニバーサルデザイン車両導入	—	B 計画の一部が適切に実施された	B 計画の一部(1台)が導入され、ユニバーサルデザイン車両導入の向上が図れた	
有限会社大石タクシー	・回転シート装備車両導入	—	C 導入の見送りにより、実施されなかった	C 導入が見送られ、計画どおり実施されなかったため、導入台数の向上が図れなかった	
県南タクシー株式会社	・回転シート装備車両導入	—	C 導入の見送りにより、実施されなかった	C 導入が見送られ、計画どおり実施されなかったため、導入台数の向上が図れなかった	
有限会社興産タクシー	・ユニバーサルデザイン車両導入 ・回転シート装備車両導入	—	C 導入の見送りにより、実施されなかった	C 導入が見送られ、計画どおり実施されなかったため、導入台数の向上が図れなかった	
八戸タクシー株式会社	・ユニバーサルデザイン車両導入 ・回転シート装備車両導入	—	C 導入の見送りにより、実施されなかった	C 導入が見送られ、計画どおり実施されなかったため、導入台数の向上が図れなかった	
マルイタクシー有限会社	・回転シート装備車両導入	—	C 事業譲渡により実施されなかった	C 導入が見送られ、計画どおり実施されなかったため、導入台数の向上が図れなかった	

地震被害に伴う公共交通機関への影響について

1 12月8日の青森県東方沖の地震について

(1) 地震に関する情報

発生日時 令和7年12月8日(月)23時15分頃
 震源地 青森県東方沖(八戸の東北東80km付近)
 地震要素 北緯41度58.0分、東経142度17.2分
 深さ約54km
 地震規模 M7.5



(2) 震度に関する情報

地震情報 令和7年12月8日(月)23時15分頃
 ・震度6強(南郷)、震度6弱(内丸)、震度5強(湊町)、震度4(島守)

(3) 津波情報

12月8日	23:17	津波注意報発表(青森県太平洋沿岸)
	23:23	津波警報発表(青森県太平洋沿岸)
12月9日	02:45	津波注意報に切替え(青森県太平洋沿岸)
	06:20	津波注意報解除(青森県太平洋沿岸)

2 交通関係の被害状況

被害区分	被害の状況
J R 東日本	<p>○ J R 東北新幹線</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡～新青森駅間の上下線で運転見合わせ (下り 20:16 東京発 23:36 新青森着はやぶさ41号が七戸十和田駅で停車中 ※乗客はJRが手配した代行バスで新青森駅まで輸送) ※ 福島～盛岡駅間は2時6分頃に運転再開 →12月9日の上下線盛岡～新青森駅間は15時40分頃から全線運転再開 <p>12月9日の運行</p> <p>【上り】</p> <ul style="list-style-type: none"> はやぶさ4号(新青森6時18分発 東京行) 新青森～盛岡間で運休 はやぶさ8号(新青森6時49分発 東京行) 新青森～仙台間で運休 はやぶさ14号(新青森9時53分発 東京行) 新青森～盛岡間で運休 <p>【下り】</p> <ul style="list-style-type: none"> はやぶさ1号(東京6時32分発 新青森行) 盛岡～新青森間で運休 はやぶさ3号(東京7時32分発 新青森行) 盛岡～新青森間で運休 はやぶさ5号(東京8時18分発 新青森行) 盛岡～新青森間で運休 はやぶさ7号(東京8時37分発 新青森行) 盛岡～新青森間で運休 はやて93号(盛岡6時54分発 新青森行) 盛岡～新青森間で運休 <p>○ J R 八戸線</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月9日の上下線全ての列車を運休 12月10日の上下線全ての列車を運休 当面の間、八戸～久慈駅間の全列車を運休 <p>※本八戸駅～小中野駅間の高架橋に被害あり(約20か所) ※運休区間にかかる代行輸送は検討中</p> <p>・12月16日 J R 東日本が八戸線代行バスの運転と一部区間の運転再開について発表 代行バスの運転 八戸～鮫駅間 臨時列車の運転 鮫～久慈駅間 実施期間 12月22日から当面の間</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月 23 日 12 月 30 日全線運転再開について発表 運転再開列車 八戸発 9 時 29 分発 久慈発 9 時 16 分発 鮫発 9 時 35 分発
青い森鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月 9 日の上下線でおおむね昼頃までの運転見合わせ (三沢～小川原間で線路設備の破損が確認され、復旧作業を行う必要があるため) ⇒三沢駅～小川原駅間で確認された線路設備故障の復旧作業及び安全確認作業が完了。同日 13 時 30 分頃から全線運転再開
IGR いわて銀河鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月 9 日のいわて沼宮内駅～目時駅間の運転を見合わせ 【上り】 ・ 八戸 6 時 9 分発 盛岡行 八戸～いわて沼宮内間で運休 ・ 八戸 7 時 13 分発 盛岡行 運休 (14 時頃から運転再開) ⇒12 月 9 日全線運転再開
バス事業者	<p>【12 月 9 日～12 月 10 日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営バス 平常運行 ・ 南部バス 平常運行 ・ 十和田観光電鉄バス 平常運行 <p>【12 月 11 日～12 月 15 日】</p> <p>国道 45 号線塩町付近交差点通行止めに伴い、迂回運行を行う。一部バス停については停車しない。 (迂回運行に伴い停車しないバス停)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営バス 二十八日町、N T T 前、下組町 ・ 南部バス 八日町、N T T 前、下組町、栄町(一部便) ・ 十和田観光電鉄バス 八日町、二十八日町、N T T 前、下組町、栄町 ・ 三沢空港連絡バス 八戸八日町 <p>【12 月 16 日】</p> <p>国道 45 号線塩町付近交差点の通行止め一部解除により、ほぼ全ての路線バスの迂回運行を終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営バス 平常運行 ・ 南部バス 平常運行 ・ 十和田観光電鉄バス 平常運行 ・ 三沢空港連絡バス 八戸→三沢空港前行き 八戸八日町を取扱わず本八戸駅始発 (三沢空港前→八戸行きは八戸八日町を取扱う) <p>【12 月 24 日】</p> <p>国道 45 号線塩町付近交差点の通行止め全面解除により、三沢空港連絡バスの迂回運行を終了し、平常運行となる。</p>

八戸市地域公共交通会議設置要綱

(設置)

第1条 八戸市地域公共交通会議（以下「会議」という。）は、道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、八戸市における需要に応じた住民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他の旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの提供に必要な事項に関する協議を行うとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画（以下「公共交通計画」という。）の作成及び実施に関し必要な協議を行うため設置する。

(協議事項)

第2条 会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様に関する事項
- (2) 市町村有償運送の必要性及びその旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 公共交通計画の策定及び変更の協議に関する事項
- (4) 公共交通計画の実施に係る連絡調整に関する事項
- (5) 公共交通計画に位置づけられた事業の実施に関する事項
- (6) 前5号に掲げるもののほか、会議の運営方法その他会議が必要と認める事項

(会議の構成員)

第3条 会議の構成員は、次に掲げる者とする。

- (1) 八戸市長が指名する職員
- (2) 八戸市内を営業路線とする一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者が指名する者
- (3) 青森県内の一般乗合旅客自動車運送事業者が組織する団体の代表者が指名する者
- (4) 八戸市内の一般乗用旅客自動車運送事業者が組織する団体の代表者が指名する者
- (5) 住民又は利用者の代表
- (6) 国土交通省東北運輸局青森運輸支局長が指名する職員
- (7) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者が指名する者
- (8) 道路管理者、青森県警察、学識経験者その他会議が必要と認める者
- (9) 八戸市内において旅客の運送を行う鉄道事業者の代表者が指名する者

(会長及び監事)

第4条 会議に会長及び監事を置き、八戸市長が前条各号に掲げる者の中から指名する。

- (1) 会長 1名
- (2) 監事 2名

2 会長は、会議を代表し、会務を総括する。

3 監事は、出納監査を行い、監査の結果を会議に報告する。

(会議の運営)

第5条 会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会長に事故がある場合には、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。

3 会議の議決は出席者（代理人を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

4 会議は、書面にて協議することができる。

5 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

6 会議は、必要があると認めるときは、構成員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

(協議結果の取扱い)

第6条 会議において協議が調った事項について、関係者は、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(ワーキング会議)

第7条 会議は、必要があるときは、会議の議事について調整又は意見交換等を行うため、構成員の任意出席によるワーキング会議を開催することができる。

(分科会)

第8条 第2条各号に掲げる事項及び運賃、料金について専門的な調査、検討等を行うため、必要に応じ会議に分科会を置くことができる。

2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第9条 会議の庶務を処理するため、会議に事務局を置く。

2 事務局は、八戸市総合政策部政策推進課に置く。

3 事務局に事務局長、事務局次長及び事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(財務に関する事項)

第10条 会議の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

2 前項の規定に関わらず、公共交通計画の所期の目的を達成し、事業を継続する必要がなくなった場合には、会長が会議に諮り、財産を処分するために必要な事項を定めるものとする。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年6月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年6月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年6月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年3月28日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。